

## 【最優秀賞】

団体名	川口若手ものづくり人材育成プロジェクト
活動の内容（概要）	川口市は、埼玉県で最も中小製造業者が多く、多種多業種が集積した都市であり、大田区や墨田区そして東大阪市などと並びものづくり産業の底辺を支えている。平成19年度から市内関係機関が連携し、地域全体を学び場として産業資源を教育に生かし、「地学地就」を目的に産業人材育成に取り組んでいる。工業高校生のキャリア教育が中心だが、小中学校生とその保護者への啓発を促す事業も実施している。具体的には、工業高校生のインターンシップや企業の高度技術者による実践的な授業、教員の企業研修や実技研修、小中学生とその保護者の工作体験と工場見学を行なう「親子でものづくり体験ツアー」などを開催し、将来の人材育成に努めている。

### 受賞理由

- 「地学地就」という理念のもと、関係団体と連携し、地域産業の課題に直結する実践的な活動に取り組み、将来の担い手の育成に努めている点が素晴らしい。
- 川口工業高校の全校生徒がインターンシップを体験できるための教育、商工会議所等との連携がうまく機能している。工業高校でこそ専門家の技術を目の当たりにする機会は重要であり高く評価できる。
- 川口市の産業界の人材育成に対する切なる思いとこれを受け止めた工業高校との「地学地就」事業であるが、これからの専門高校における職業教育の在り方を方向付けるものとして素晴らしい取組である。
- 商工会議所が運営主体となり、地域全体を巻き込み、高校生にとどまらず小中学生、保護者への啓発事業も行っている点が素晴らしい。

### 連携・協働している機関や団体、組織

【教育関係者（学校、教育委員会等の機関や団体）】

埼玉県立川口工業高等学校、

川口市教育委員会学校教育部（市内小中学校）、埼玉県立川口高等技術専門学校

【行政】

川口市役所（経済部・教育局）

【地域・社会】

きらり川口OB人材マッチング協議会

【産業界】

川口商工会議所、川口鋳物工業協同組合、川口機械工業協同組合

関東経済産業局、埼玉県産業技術総合センター、（公財）川口産業振興公社、市内企業約200社

### 活動開始の経緯

【平成19年度～平成21年度】

経済産業省（工業高校実践教育導入事業）と文部科学省（ものづくり人材育成のための専門高校・地域産業連携事業）の共同事業に参画。さいたま地域、熊谷地域、狭山地域、川口地域の4拠点で事業を実施。

【平成22年度】

全国中小企業団体中央会「ものづくり分野の人材育成・確保事業」補助金に採択され、川口地域単独で事業を実施。

【平成 23 年度】

川口商工会議所、埼玉県立川口工業高等学校、川口鋳物工業協同組合、川口機械工業協同組合 4 者で協定を締結し、各者が費用負担をしながら教育プログラムを実施した。

【平成 24 年度～平成 26 年度】

川口市（経済部・教育局の協力）から事業補助を得、さらに事業を充実させるべく展開を図っている。

### 「協力性」についての具体的な取組、工夫している点など

「川口若手ものづくり人材育成プロジェクト」の事業において、川口商工会議所が運営主体となり、地場産業である川口鋳物工業協同組合、産業基盤を支える川口機械工業協同組合、その他、行政機関及び教育機関、さらに川口 OB 人材マッチング協議会の参画を得ている。

本組織は、事業運営を行う実行委員会と各種事業を企画・実施する作業部会の構成としている。協力体制として本プロジェクトの趣旨に賛同してくれる企業の発掘を、川口商工会議所・川口鋳物工業協同組合、川口機械工業協同組合、さらに川口 OB 人材マッチング協議会が行い、川口市教育委員会から学校教育部を通じ市内小中学校へチラシを配布し生徒・保護者の事業参加を勧奨している。並びに校長会において事業内容の説明をし協力をいただいている。その他、現在、「電力多消費型の産業が集積している川口では、電力料金の高騰や資材の値上げを転嫁できない参加企業は 廃業も視野に入れるほど厳しい経営環境にあるが、地域を担う人材育成のために、この事業に進んで協力してくれている。

その他、川口商工会議所では、川口市教育局教育委員会と連携し、市内中学校の生徒に、地域の中での様々な社会体験活動や多くの人々とのふれあいを通して、感性や社会性、自立心を養っていくことを目的に「さらに川口夢ワーク事業」を実施している。

### 「継続性」についての具体的な取組、工夫している点など

本プロジェクトは「地学地就」を共通した目標として、関係機関で構成される実行委員会(事業計画・収支予算、事業報告・収支決算の承認)と作業部会(事業計画・予算の立案・事業実施・検証)でプロジェクトを実施している。事業は毎期、企業と本校の学生からのアンケートを取得し、双方のニーズなどを分析し、次年度の事業の参考としている。その結果事業実施後は市内就業率が確実に向上している。

### 「実践性」についての具体的な取組、工夫している点など

川口市の製造業は平成 3 年をピークに減少しており近年はその度合いも大きなものとなっている。しかし埼玉県下で最大の製造業の集積があり、鋳物の知名度は依然高い地域であるため、本事業は「ものづくり」体験や知識習得事業は市民の意識向上・後継者育成の啓発事業になっている。事業に参加した市民からは、「親子で体験ものづくりツアー」において父親が工業高校の卒業生で子供達にものづくりの大切さを伝えたり、インターンシップに参加した生徒がその企業へ就職している。また、工業高校教諭の製造現場経験や中学校教諭との連携など人材育成で重要な教育者の資質の向上が図られ、本プロジェクトが機能していると考えられる。

プロジェクトの教育支援活動の理念・方針は、「地学地就～地域で学び地域に貢献」としている。「地学」とは、地域全体を学びの場とし、地域の教育力（高度な技術・技能を持つ人材等の協力）を本校教育活動に生かすことであり、「地就」とは、地域のものづくり人材を育て、地域に就職するということである。つまり、地域・学校が連携し地域全体で将来のものづくりを担う地域の人材を育て、川口市の活性化を目指している。



「親子で体験ものづくりツアー」の実施の様子

### 「発展性」についての具体的な取組、工夫している点など

若者のものづくり離れが深刻化している現代において、技術の承継や若手のものづくり人材の育成は本地域産業界においても喫緊の課題である。しかしながら、学校教育現場においては、多様化する生徒の学習意欲への対応方法に苦慮する面もあり、学校教育だけでは、産業人材育成が完結できない状況も見受けられるなか、若手ものづくり人材の育成、地域産業の振興、地元就職の促進を図るため、産業界と行政、教育機関等が連携した本プロジェクトにより、工業高校生を対象にした実践的な教育プログラムの充実を図ることが出来た。

今後は本商工会議所として、工業高校生のプログラムに加え、社会人（一般事業者の技術者等）を対象としたカリキュラム作成、人材登録制度等「(仮称)ものづくり人材育成センター」の概念を検討し、小学生から社会人までの全階層を網羅した若手ものづくり人材の教育システム構築を目指す。

その他、川口商工会議所では、雇用対策委員会を組織し、川口市内の企業に対する労働力（新規学校卒業生）の確保を目的として、毎年川口市、川口公共職業安定所及び市内各種業種組合の協力をいただき、各企業から提出された求人票をまとめ埼玉県内近隣及び東京地区の主要高等学校を訪問し、川口市内企業への生徒の紹介を依頼している。

### 活動実績

#### 【1. インターンシップ、2. プレインターンシップ】

地場産業の鋳物、機械、木型工業をはじめ、多くの市内企業の協力のもとで、参加者はものづくりの実体験から企業及び社会の現状及びルールを学び、就職への意欲を高めている。1 学年にはプレインターンシップと称し数人による企業ヒアリング及びヒアリング結果の発表等を実施している。年々参加者と受入企業は増加している。

#### ●平成25年度実績

インターンシップ（実施期間：3日間、全学科2学年164人参加、協力企業：72社）

プレインターンシップ（実施機関：1日間、全学科1学年192人参加、協力企業：92社）

#### 【3. 高度技術者による特別授業】 平成25年度実績 述べ13回実施

##### ①旋盤、溶接、板金、塗装（埼玉県立川口工業高校機械科1学年対象）

●旋盤…2日間開催20人参加      ●溶接…2日間開催20人参加

●板金…2日間開催20人参加      ●塗装…2日間開催20人参加

講師：旋盤…(有)白根機械製作所	代表取締役	白根 幸男 氏
溶接…(株)岡特殊溶接	取締役会長	岡 綱幸 氏
板金…(有)信興板金	代表取締役	高橋 一馬 氏

塗装…友栄塗装(株) 代表取締役社長 増田 学 氏

②半田付け（埼玉県立川口工業高校電気科 1 学年対象）

●半田付け… 2日間開催 70人参加

講師：半田付け…エスコウィンズ(株) 代表取締役 小俣 精一 氏

③旋盤（埼玉県立川口工業高校機械科 2 学年対象）

●旋盤… 2日間開催 62人参加

講師：旋盤…埼玉県立川口高等技術専門学校 新井 誠 氏

④インターネット市場（埼玉県立川口工業高校情報通信科 2 学年対象）

●インターネット市場… 1 日間開催 75人参加

講師：インターネット市場…(株)ASJ(株) 取締役 I R部長 仁井 健友 氏

#### 【4. ものづくりのたまご事業】

平成25年度実績 事前登録150組、当日参加者131組、応募227組

川口市内小中学校校長会にて周知、川口市内小学校52校、中学校26校に協力依頼



インターンシップ実施の様子

#### 学校現場の評価・感想・コメント

「川口若手ものづくり人材育成プロジェクト」は、川口商工会議所を中心に、川口鋳物工業協同組合、川口機械工業協同組合と本校の4者が連携協力して、川口の産業振興のための人材を育成しようとするものです。これまでも、この事業を展開する上で、川口産業振興公社、川口市のほか、たくさんの関係団体にご支援をいただいております。インターンシップのほか、高度技能技術者による特別授業や企業見学、教員研修、親子でものづくり体験ツアー等々、今年度も本校の教育目標の実現に向けて、大変ありがたい内容を実施していただいております。そして、インターンシップでは、実際の企業現場での実習体験を通して、学校では経験できないものの見方や考え方を知り、他者を思いやる仕事上の場面に接したりすることができます。3日間という短い期間ではありますが、企業で働く方々に接し、職業人としての責任感や誇りを感じ取ったり、何より挨拶や基本的なマナーの大切さを身をもって知り得ることも大きな収穫であります。実施後、企業の方から、真面目に取り組んでいたとのお褒めのことばをいただく一方、お叱りをいただいた話もありました。これらは全て真摯に受け止め、今後に活かしていきたいと存じます。参加した生徒達もこの経験や自信を、今後の学校生活や進路選択に必ずや活かしてくれるものと信じます。

#### 直接連携・協働していない関係諸機関（行政・産業・地域団体等）からの評価・感想・コメントなど

●平成25年度埼玉県キャリア教育実践アワード表彰において、優秀賞を受賞

●日本商工会議所からも本取り組みについて高い評価を得ている。

（全国商工会議所への会報誌による事例紹介 商議所ニュース 第 2456 号 H25.10.11）